

シャイン

— 受講のきっかけと今 —

シャイン 006号

子どもの傾聴ボランティアで 「その時どう思ったの、それで、」 と問い掛け

吉田 悦子さん

会社名：NPO 法人野田文化研究会 役職：理事

資格：産業カウンセラー・交流分析士1級



【受講のきっかけ】

『学びと出会い』

子どもの傾聴ボランティアをして17年になります。ボランティアの養成講座を担当したことから、先輩の勧めもあり、もっと知識を深めたいと養成講座を受講しました。理論、実技も学べば学ぶほど奥の深いもので、両先生のご指導と共に学ぶ仲間がいたからこそ頑張って産業カウンセラーの資格を取得できました。今も近況報告、情報交換などパワーをもらい掛けがいのない存在です。

【資格取得後の活動状況】

『願えば通ず』

モチベーションを高めてくれる両先生から「カウンセラーを目指すなら何か自分に合う技法を身につけると良いですよ」「子どもに関わって行くなれば青少年の発達段階を学ぶと良いですよ」とアドバイスを頂いたこともあり、NPO 法人日本交流分析協会の講座を受け1級交流分析士とTA子育て支援士の資格も取得しました。

子ども劇場のお母さんたちと「子どもは生の舞台や音楽を通して感動を分かち合い、仲間とともに体験し感性豊かな子どもの成長を願い」活動をしてきましたが、交流分析を学び私の中で糸がするするとほどけるように、現実の活動と理論が一つに繋がりました。

傾聴ボランティアの活動を通して思うことは、子ども達は話を聞いてくれる人がいれば、気持ちの整理ができたり、一歩踏み出せるのにと感じていましたので、子ども達と直接触れ

合う活動を望んでいました。産業カウンセラーの資格で中災防の心理相談員を取得し、共に学んだ仲間の助言もあって小学校に週2回行くことができました。

小学校では低学年の1.2.3年生の朝自習、授業に入って子ども達と関わっています。それぞれ学習をしながらも個性があり、どの学年も「その時どう思ったの、それで、」と言葉をかけると子ども自身が考えるきっかけになり、いつも子どもはすごいなと日々成長していると感心します。

子どもが心を開いてくれる機会も増えてきました。校長先生、教頭先生、教務主任、担任の先生方も話を聴いてくださるので連携の良い中、特に食育指導で毎日子ども達と接している栄養士さんが心の栄養の役割も果たしているのだと大きな発見でした。子どもたちはちょっとしたトラブルは日常茶飯事で、それを言葉にして話せることが大事だと子ども達の話聴きながら私もエネルギーをもらっています。

